

4月のプレイデーから一年間、
たくさんの行事を行ってきました。
まずキリストにちなんだ行事がたくさんあったこと。
毎日の礼拝から一日が始まりました、平和学園独自の
ものだと思います。

12月のクリスマス、ページェントは
2年生が来年行うんだと思いながら見ていました。
どの行事もその時その時に力を注いできましたの
で、どれも印象深く残っているものばかりです。
教員生活、初めて経験することばかりでした。
2年生の皆さんと一緒にやってこれたことに、
感謝します。

ありがとうございました。
相原 和子先生より



「生活をしていました」と思います。この1年間、
私は1年生の子どもたちと生活をしていました。
共に学び、笑い、食べ、遊び、1人で泣き、
過ごしてきました。
学校生活というより「生活そのもの」でした。

たくさん、教えてもらいました。
たくさん、許してもらいました。
素敵で1年間でした。ありがとうございました。

小湊 将之先生より

3年生の思い出は、やはり神さまから与えられ
た大きな使命、ページェントです。長い時間をか
けて、声も心も備えられていきました。素晴らしい
本番も、そこに至るまで考え続けた日々も、仲
間と一緒に共有したからこそ宝物なのだと思います。
きっと神さまは「みんなで一緒に乗り越えな
さい。」と3年生にこの使命をお与えになるでし
ょう。この写真は、保護者参観前の緊張の一瞬。
1年間支え、おし続けた背中は、大きく頼もしく
なりました。まっすぐ前を見据え、一步一步前進
するみんなを後ろから応援しています。

臼屋 幸先生より



6年生の一人ひとりがここまで主役になれる学校は、
そうはありません。平和の6年生に与えられる責任は大
きくて重い。しかし、その一つひとつに秘められた感動
と成長は、何物にもかえがたい。自然教室の感動と特別
な涙、沖縄での衝動と祈り、個を見つめ直し未来を描く
卒論などなど、人生の柱に溢れているのが平和の6年生。
それは1年生からの積み重ねがあってこそ。順風満帆の
6年間を過ごすクラスなんてありません。悩み戸惑い、
でも必ず向き合って一步一步育てられ、そこには祈りが
あり、だからこそ平和の6年生はダイナミック。少人数
なのではなく、少人数だからこそ生まれる豪快さがこ
こにはあります。下級生の子どもたち、そしてご家庭の
皆さん、そんな平和の6年生になりましょう。
いっぱいいっぱい希望を持ってドキドキ、
その「時」を待ってくださいね。

高岸 博康先生より

「その先の一步へ…」

2014年度 HEIWA への歩み

子どもたちと一年間歩んできた先生方に、
この一年を振り返り、メッセージを頂きました。一



「骨折者が多い」は、
このクラスの特徴の一つです。
6月にKくんが足を骨折。完治直前に今度はその
骨折をかばってもう一方の足を疲労骨折。車椅子
のお世話になることになってしまいました。階段
の昇降が大変なので、急遽、教室を411に変更
しました。自分達が住みやすいように教室をコー
ディネートし、教室の一角に更衣室を兼ねた多
目的コーナーまで作ってしまいました。
暑い暑い7月を、5年生だけは冷暖房完備の快適
空間で過ごしました。

大野 仁先生より



編集後記

為せば成る、為さねば成らぬ何事も。
一步一步前進するために。強い意志をもって。
失敗を恐れず。
皆の持てる力を存分に発揮し。一丸となって…。
「Parent-Teacher Association」
先生も保護者も子ども達も、
みんな一緒にへいわまるに乗り込み、
今こそその先の未来へ出航の時…。

2014年度 広報委員長 川浦 理紗子

4年生の大きな行事は田んぼの学習。
苗を植え、収穫し、おもちつきまで全員で力を合
わせました。Oさんご夫妻にあたたかくご指導いた
だいたことは、大きな喜びで、心より感謝していま
す。
また、1学期に『物語書こう会』が生まれ、特に3
学期は物語作り大ブームとなりました。『くろねこ出
版』として製本して学級文庫におき、貸し出しもし
ています。今では20冊を超え、お互いの作品を読
みあっています。

石黒 敬子先生より